

平成29年度 第5回市長タウンミーティング概要

と き：平成29年4月23日(日)
午後2時半～午後4時
ところ：中央公民館
参加者：155人

○市長あいさつ

(市長より、平成29年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

質問(女性)

福祉入浴券の利用について、塚越にある2つの銭湯が廃業し、不便になってしまったので、市にお願いしたところ、今月から川口市内にある銭湯でも使えるようになりました。ありがとうございます。

回答(市長)

蕨市内の銭湯は減少傾向にあり、数年前には、南町の銭湯や錦町のスーパー銭湯が無くなり、昨年度は、塚越の2つの銭湯が廃業されました。福祉入浴券の制度は、利用にあたり条件はあるものの、銭湯は健康的な生活には必要であることから、その支援を行ってきましたが、市では銭湯をつくることができないため、塚越や南町に近い川口市や戸田市の銭湯に協力できないかと交渉し、この度、川口市の2店舗の銭湯を利用できることとなりました。利用にあたっては、川口市の制度に合わせる形となるため、自己負担額は100円から200円になり、利用日時は、月曜日から土曜日までとなります。今後も、銭湯が無い南町のことも含め、銭湯を利用しやすい環境づくりに努めていきたいと思っております。

質問(女性)

1点目はLGBTについてです。私の子どもはトランスジェンダーで、この件について学校と交渉する際、先生はLGBTについての知識が不足し、話し合いができません。中学校入学を控え、学生服をどちらの性別で揃えるかといった課題など、第三者機関の専門的な意見を取り入れて検討をしていただけないでしょうか。また、市役所にはLGBTの窓口が無いというえ、各担当の窓口で

もその知識が足りないので、専門窓口を設置していただきたいのと、LGBTを含めた障害者用のトイレを充実させていただけないでしょうか。

2点目は、発達障害についてです。発達障害の子どもには、早期発見や継続的な支援が必要とされていますので、蕨市にも発達障害者支援センターを設置してもらえないでしょうか。

回答（市長）

1点目のLGBTについて、馴染みのない方もおられるかもしれませんが、個人に個性があるように、性の問題も色々な個性があるということで、それを代表しLGBTと言われています。中学の制服や宿泊を伴う行事、トイレなど、学校現場では色々な問題があると思いますが、一番大事なのは、その子にとって、どのような対応が望ましいか、本人やご家族と親身に相談することです。教育委員会にも伝えたいと思います。また、市への相談についても、蕨のような小さな市ではLGBTの専門窓口を設けるのは難しいですが、市民の皆さんに市役所がきちんと相談にのってもらえる場所だと思って頂けるよう努めるとともに、相談時に的確な対応ができるよう、職員研修の徹底と、こうした問題提起があったということを担当に伝えたいと思います。

2点目の発達障害者支援センターの設置ですが、市としても、発達障害については、早くからの対応が、子どものその後の人生にとって大切であり、その必要性は感じていますが、蕨のような小さな市では対応できていない状況です。発達障害にはさまざまなケースがあり、蕨では、学校に支援員を配置するなどの対応を行っていますが、そうした要望や課題があることは承知していますので、担当にも伝えたいと思います。また、より専門的な対応もあると思いますが、そうした専門機関の紹介にも努めるとともに、どのような対応が具体的にできるか、大きな課題として今後、検討させていただきたいと思います。

質問（女性）

国民健康保険の広域化について、蕨の国保税は今まで低い税率で助かっていましたが、それが1.77倍になるとの報道がありました。蕨では広域化に向けて、どのような検討がなされているのですか。

回答（市長）

国民健康保険は、職場等の医療保険制度に比べて保険税が相対的に高くなっています。そうした状況を踏まえ、蕨市では市民の健康と暮らしを守るため、一般会計から国民健康保険特別会計への繰出金により、保険税が高くなならないよう抑制に努めてきました。こうした中、来年4月から、国保が都道府県単位

で運営する新制度に移行することとなり、市町村ごとの標準保険税率が示され、それをそのまま適用した場合には、現行の蕨市の保険税額と比べて1.77倍になるとの報道があり、更に先日、新たに示された試算では1.8倍超になるとのことでした。新しい仕組みでは、都道府県単位の国保運営となるものの、保険税率は市町村単位で決められることとなりますので、医療の高度化や高齢化による医療費の上昇などを背景に、一定の値上げは必要と考えていますが、市民の健康と暮らしを守る考えのもと、低所得者層の負担を配慮しながら検討していきたいと思っております。

質問（男の子）

学校給食の品数が少ないので改善してほしいです。

回答（市長）

育ち盛りの子どもにはたくさん食べてほしいと思っております。品数を増やしてほしいとの希望があったことを給食センターに伝えておきます。

学校給食は、各家庭から支払われた給食費でやり繰りをしており、仮に品数を増やすには、栄養バランスや給食費も含めて検討していく必要があると思っております。昨年は野菜の価格高騰が話題となりましたが、食材の価格が高騰した際には、安価で安全な食材を用い、献立を工夫しながら、栄養バランスのとれた給食を提供していますので、引き続き、努力していきたいと思っております。

質問（男性）

少し前、市議会だよりで、中央の市民プールのあり方を問う内容を見ましたが、うちの子どもはプールが好きで、毎年楽しみにしているのですが、存続させていただけないでしょうか。また、市民公園の遊具エリアの砂ぼこりがひどいので、対策をしていただけないでしょうか。

回答（市長）

議会では色々な質問がありますが、中央の市民プールについては、市として廃止していく考えはありません。施設は老朽化していますが、安全性に配慮して運営していますので、皆さんには大いに利用していただきたいと思っております。市民公園の砂ぼこりについては、水を撒いたり、芝生化する方法もあるかと思っておりますが、どのような対策が可能なのか今後検討していきたいと思っております。

質問（女性）

市内で保育士をやっています。保育の一環で利用する錦町3丁目4のちびっこ広場No.27に、小さな子が使える小さなすべり台と砂場の猫除け用フェンスを設置していただけないでしょうか。また、通り道(県道朝霞蕨線79号)に、押しボタン式信号を設置していただけないでしょうか。

回答（市長）

市内にある公園には2種類あり、「都市公園」と土地所有者から市がお借りして設けるような「ちびっこ広場」があります。一般的に、ちびっこ広場は、土地所有者に返還することが前提となる場合があるので、頑丈な遊具を設置しづらい実情があります。加えて、錦町では区画整理を進める中で、公園を一定数、整備することとなっており、ちびっこ広場の移転もあるかもしれない状況にありますので、早急な対応が厳しいかもしれません。いずれにしましても、そういった要望があったことを担当に伝えておきます。

(安全安心推進課より 押しボタン式信号の設置については、交通量調査を行い、警察へ設置に向けた要望を行っていきます。)

質問（男性）

ごみの問題と高齢化についてです。中央3丁目と4丁目の間にある通りのごみ集積所についてですが、利用する住民が高齢化のため、ごみの出し方のルールを守れなくなってきたり、集積所の掃除も高齢のため大きな負担となり、将来が心配です。ごみの戸別回収について、検討していただけないでしょうか。

回答（市長）

地域の高齢化については、先日の南町タウンミーティングでも同じようなご意見をいただきました。こうした問題は今後、地域活動の中で多かれ少なかれ出てくると思いますが、当面は、元気な方に頑張ってもらいたいと思います。蕨戸田衛生センターでは、平成25年から15年間のごみ処理基本計画を策定し、その中で、単身高齢者で、ごみを出せない方の戸別収集を検討課題として掲げていますが、現在のごみ収集の仕組みの中では、実施が難しい状況のため、引き続き、住みやすいまちに向けて、地域の皆さんの元気な力で頑張ってもらえようをお願いしたいと思います。

また、あの通りは、多くの皆さんの蕨駅への通勤・通学路として使われ、その途中で地域以外の方がごみを不法投棄されるなどの問題があるといった話を伺ったことがあります。ごみの不法投棄についていえば、今年度は、市内に防犯カメラを140基設置しますが、町会設置分もありますので、ごみの不法投

棄に対しては抑止効果もありますので、地域の要望として設置も可能ではないかと思えます。

質問（男性）

市庁舎の耐震化について、市では、現在地での耐震化補強、免震、建て替えのほか、市民会館との複合施設、駅前再開発での整備の5つの案をまとめたそうですが、私は、市役所を駅前の再開発施設に整備する案を提案したいと思えます。それは、市が、駅前の地権者として一番多くの面積を持つ点や、川口市のように市庁舎を現在地で建て替える場合には、仮庁舎や移転費用など色々な費用がかかる点などからです。また、市役所以外にも、市民会館や市立病院の建て替えの時期が、10年、20年後には来ると思えますので、まずは市役所を駅前の再開発施設に整備し、その後、市民会館を市役所の跡地に、市立病院を市民会館の跡地に移転し、最後に、市民体育館を市立病院の跡地に移転させることが、最も効率的と考えられます。最近の傾向では、市役所や行政サービス機関を駅前に移す自治体が増えているので、検討していただけないでしょうか。

回答（市長）

市庁舎の耐震化については、昨年度、庁内において検討し、ご提案のありました駅西口再開発施設として市役所を整備することを含めた5つのパターンをまとめました。これは、今年度、学識経験者や市議会議員、公募市民で構成される審議会で、検討していただくための基礎資料となっています。

再開発施設として市庁舎を整備するパターンについては、庁内で検討した結果、市が所有する面積だけでは不足、駅前の一等地で非常に価格の高い地を多く買い足さなければならないことや、必要や来庁者のための駐車場の確保など、大きな財政負担を伴うことなどが、大きな課題として上げられています。また、市役所を再開発で整備した後、空いた土地に順次、施設を新築していくという提案については、1つの考え方とは思いますが、非常に多額の費用がかかってしまい、財政的に可能なのかという問題があります。いずれにいたしましても、市庁舎の耐震化整備については、市民サービスの拠点、防災対策の拠点となる大きな問題であることから、いただいたご提案を含め、市民アンケートなどのご意見を参考にしながら、審議会においてさまざまな角度から検討をしていただきたいと思います。

質問（男性）

これから全方位的に様々な施策を実施するには財源が必要だと思えます。そういう意味で、市税の収納率の更なる向上を、徹底して頑張ってもらいたいと思えます。

回答（市長）

税収確保に向けては、地域の活性化や人口増などによる税収アップが必要であるとともに、税の公平性の確保も同時に求められます。税の徴収率については、県南部は人口の異動が激しく、概ね苦戦している状況ですが、蕨市では、様々な方策と努力により5年連続で収納率がアップし続けています。

また、財源確保という点について、市では、昨年9月にふるさと納税の返礼品制度をスタートさせ、半年間で1800万円以上の寄附を頂き、一昨年度の個人からの寄附額17万5千円と比べ、その効果は約100倍となりました。制度そのものは、本来のふるさとを応援する趣旨とはかけ離れているものの、このままでは蕨の税収が減ってしまうことから、見過ごすことができないため、この制度が続く限り、蕨にゆかりのある商品をPRしながら、引き続き取り組んでいきたいと思えます。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。